

ののほなだより 6月

2021年6月1日

ののほな文京保育園

<http://toukoukai.org/>

「保育理念」いきいき

「基本保育方針」

子どもの成長・発達に寄与する人はすべて保育者

私たちは、今ここで、「こどもたちのたからもの」を大切にします

地域で安心して子育てができるように

入園、進級から3ヶ月が過ぎました。

子どもたちは、園生活に慣れ友だちや先生と楽しく遊んでいる笑顔が多く見られるようになりました。

初夏に入り暑い日が続いていますが間もなく長い梅雨を迎えます。

雨空を見ながら隣の梅畑、ののほな畑でこの季節ならではの発見、体験をしていきたいと思えます。

畑の夏野菜も間もなく実り、子どもたちの手で収穫し給食に添えられます。楽しみです。

園の食農保育は、様々な活動をしています。その一環として園庭の田んぼ（プランター）で稲を育ててきましたが、今年は相模原市農協（JA）の農業指導員の方に協力いただき、本格的な栽培方法をしていきます。品種は、農協から頂いた「きぬひかり」を植えることにしました。稲作を通して、苗の成長を身近で観察し、お米として給食や食卓に上るまでの課程を見て触って、最後は稲穂を精米するまで関わっていただけるように考えています。

また、園は近隣の農家の皆さんの協力をいただいて年間を通して野菜の栽培や梅、栗の収穫などの体験の場を提供していただいています。ののほなの保育がそこにあります。本物にたくさん触れていきましょう。一向に収束しないコロナ禍ですが、ワクチン注射が行き渡り子どもたちが安心して過ごせる日常が戻りますようお願いばかりです。



ののほな文京保育園 園長

ののほな文京保育園

2代目のシンボルツリー